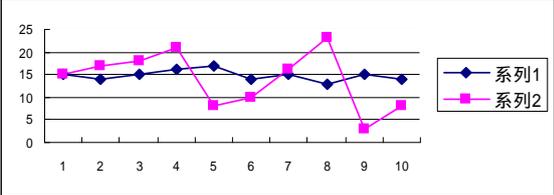


- 1 日時 平成 年7月3日(金) 第2校時 6年4組教室、3Fホール  
 2 単元名 『生物とかんきょう～食べる食べられるの関係』(2時間扱い/本時は第2時)  
 3 本時の授業

- (1) 目標 生物が「食べる、食べられる」という関係でつながっていると考えることができる。  
 (2) 本時の構想 (思考)

動物は、自分が生きるために他の生き物を捕食している。児童はこのことを知っているが、捕食される場面の映像等から「かわいそう」といった感情も持っている。食べる-食べられるの関係は、その需給バランスがあり、天敵がいることによってそのバランスが保たれていることを、体験活動をすることでより深く考えさせたい。

(3) 展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点																																	
<p>「食べる、食べられる」の関係について教える。                      ・落ち葉 ダンゴムシ カゲロウ                      ・草 シカ オオカミ</p> <p>----- ( 前 時 ) -----</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         天敵がない世の中は、ダンゴムシやシカにとって幸せな世の中だろうか？                     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">                             幸せ                              ・食べられないですむ                         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;">                             幸せじゃない                              ・餌は足りるのかな？                         </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         体験活動「天敵がない世の中は？」をしよう。                     </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <table border="1" style="font-size: small; margin-top: 5px;"> <caption>シカの数の変動 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>系列1 (餌あり)</th> <th>系列2 (天敵あり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>15</td><td>15</td></tr> <tr><td>2</td><td>14</td><td>16</td></tr> <tr><td>3</td><td>15</td><td>17</td></tr> <tr><td>4</td><td>16</td><td>18</td></tr> <tr><td>5</td><td>15</td><td>8</td></tr> <tr><td>6</td><td>14</td><td>10</td></tr> <tr><td>7</td><td>15</td><td>15</td></tr> <tr><td>8</td><td>14</td><td>25</td></tr> <tr><td>9</td><td>15</td><td>2</td></tr> <tr><td>10</td><td>14</td><td>10</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <p>1回目は、子どもたちをシカ役と草役に分け、ジャンケンでシカが勝てばシカは草を食べる。草役の子シカになりシカ増、草減となる。2回目は、天敵(狼)役をつくり、シカは適度に食べられる。</p> </div> </div> <p>実験結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天敵がいるとシカの数安定している。</li> <li>・天敵がいないと草もシカも急に増えたり、減ったりしている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         なぜ天敵がいる方が、シカの数安定するのだろうか？                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・餌の量には限界がある。</li> <li>・そんなに余裕があるわけではない。</li> <li>・天敵がいる方がバランスが取れる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         天敵がいる方が、かえって世の中は安定するのだな。                     </div>	回数	系列1 (餌あり)	系列2 (天敵あり)	1	15	15	2	14	16	3	15	17	4	16	18	5	15	8	6	14	10	7	15	15	8	14	25	9	15	2	10	14	10	<p>教科書の図を使いながら、食べる-食べられるの関係があることを教える。</p> <p>実際に体験活動をする中で、具体的に考えさせる(I.H)</p> <p>(1)考えをノートに書く</p> <p>体験活動は教室横のホールでおこなう。</p> <p>シカの増減を記録し、グラフ化する。</p> <p>実験結果から、なぜ天敵がいた方がシカの数安定するかを考えさせる。</p> <p>(2)友だちタイム[手だて1] 友だちタイムで考えを深めて一斉学習につなげたい</p> <p>(3)全体での話し合い</p> <p>【評価】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 生物が「食べる、食べられる」という関係でつながっていると考えることができたか？(思考)             </div>
回数	系列1 (餌あり)	系列2 (天敵あり)																																
1	15	15																																
2	14	16																																
3	15	17																																
4	16	18																																
5	15	8																																
6	14	10																																
7	15	15																																
8	14	25																																
9	15	2																																
10	14	10																																